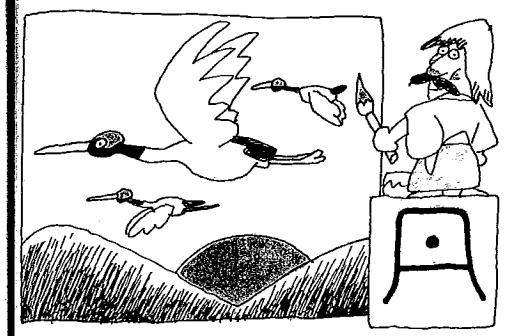
丹

4画



おん タン

なりたち 丹石や丹砂を採掘する坑道の入り口の形を表した字。丹石や丹砂の色の赤いことから〝あか色〟を表す。

いみとじゅくご
▼赤い。また、赤い色。
丹頂…頭の上の部分が赤い鶴（つる）の名。
丹青…赤と青。色彩。転じて、絵のこと。
▼ありのまま。まごころ。
丹精…まごころを込めて行うこと。**用例** 丹精して育て上げる。
丹念…まごころを込めて念入りに行うこと。**用例** 丹念な仕事。
▼ねり薬の名の下につける語。
仙丹…昔、中国で、飲めば不老不死の仙人になれると信じられた霊薬。

よみかた 丹誠・丹前・丹毒・鉛丹

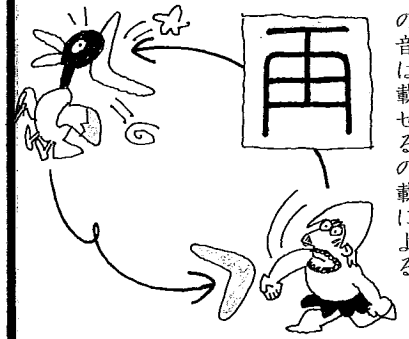
再

【5年】

6画

おん サイ・サ　くん ふたたび

なりたち 物を載せる台の形を表した字。台は物を取り去ってもまた載せるので、〝ふたたび・たびたび〟の意味に用いられるようになった。サイの音は載せるの載による。



いみとじゅくご
▼ふたたび。もう一度。
再度…もう一度。
再来…❶ふたたび来ること。**用例** 再来の患者。❷この世にもう一度生まれること。生まれかわり。**用例** キリストの再来。
再現…すでになくなっているものをもう一度現すこと。現れること。**用例** 過去を忠実に再現する。
再考…もう一度考えること。考え直すこと。**用例** 再考を促す。
再興…一度滅びたものや衰えたものがまた興る（興す）こと。**用例** お家再興の宿望。
再三再四…くり返し何度も。

よみかた 再会・再開・再起・再建・再婚・再生・再選・再読・再任・再発・再出発・再来年

五

【1年】

4画

おん ゴ　くん いつ・いつつ

なりたち 天地陰陽の気が交わって木・火・土・金（ごん）・水の五行が生じたという中国の古い学説に基づいて作られた字。天地陰陽が交わった形で〝いつつ〟を表した。

いみとじゅくご
▼「いつつ」という数。
五穀…五種類の主要な穀物。（米・麦など。）転じて、穀物全体をいう。
五官…五つの感覚器官。（目・耳・鼻・舌・皮膚。）
五感…五官で感じる五つの感覚。（視覚・聴覚・嗅覚（きゅう）・味覚・触覚）
五臓…五つの内臓。肺臓・心臓・脾臓（ぞう）・肝臓・腎臓（じん）。
五行…中国の古い学説で、この世界を形成する五つの元素。木・火・土・金（ごん）・水。
五里霧中…深い霧の中にいるように、迷ってどうしたら良いか見当がつかないこと。
五十歩百歩・五十音・五十三次・五大陸

よみかた 特別なよみかた→五月晴れ・五月雨（さつきあめ）

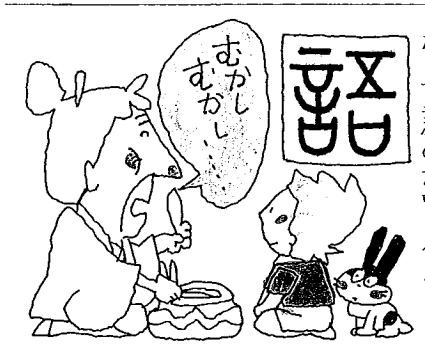
語

【2年】

14画

おん ゴ　くん かたる・かたらう

なりたち 〝われ〟の意味の吾（ご）と言との会意形声字。〝われ言う〟という意味で作られた字。〝かたる・話をする〟。また、〝言葉〟の意味に使われる。



いみとじゅくご
▼ものをいう。話す。
語り手…話す人。
語り草…話のたね。話題。**用例** 後々までの語り草になる。
私語…ひそひそ話。**用例** 私語をつつしむ。
大言壮語…自分の力以上に大きなことをいっていばること。
▼ことば。
語意…言葉の持つ意味。
語感…❶その言葉が与える感じ。❷言葉に対する感覚。**用例** 語感が鋭い人。
語尾…言葉の終わりの部分。
漢語…昔、中国から伝わって日本語になった言葉。

よみかた 語学・語気・語句・語源・語調・語弊・語法・英語・言語・古語・口語・主語・熟語・述語・物語